

2014年1月23日

緑の党

共同代表 すぐろ奈緒 様
同 高坂 勝 様
同 長谷川羽衣子 様
同 中山 均 様

脱原発都知事を実現する会
代表世話人 河合弘之
同 鎌田 慧

申し入れ書

貴党の日夜の活動に敬意を表します。

この度の東京都知事選挙に際し、私たち「脱原発都知事を実現する会」は脱原発派候補一本化への道を望みつつ、細川護熙氏への支持を決定し、1月20日に市民集会と記者会見を行い、翌日に勝手連の事務所を立ち上げ、動き出しました。

3・11以降の日本を取り巻く情勢は原発再稼働攻勢など、悪化する一方です。そこに細川護熙氏が立候補を表明、一気にこの閉塞感を覆し、脱原発を実現する千載一遇のチャンスが巡って来ました。脱原発に保守も革新もありません。国の存亡の問題であることに保守層も気づいてきたのです。この保守層の変化を有利に取り込まなければなりません。東海第二、浜岡、柏崎刈羽の原発が事故を起こせば、東京都は壊滅的な被害を受けることとなりますから、原発問題は都民の安全を守らなければならない都知事の最大の課題です。細川氏はその課題に立ち向かうことを表明したのです。

一方、宇都宮健児氏の政策では、脱原発を掲げるものの最重要課題とはしていません。これでは脱原発を争点に、東京都から脱原発を実現するという私たちの思いがかないません。

緑の党は原発ゼロを掲げ、選挙においても国の原発政策を異議を唱え闘ってきた政党です。

貴党が宇都宮健児氏の推薦を決定されていることは承知しています。

しかし、その決定は、細川氏の立候補が未定の時点でなされたものです。その後、細川氏が脱原発最優先を明確に掲げて立候補したという大きな事情変更があるのですから、細川氏支援に変更することは、道理的にも法的にも正当です。

以上の通りですから、是非方針を変更して細川氏支援に切り替えていただくよう、お願いします。

ご回答を早急にいただきたく、お願いいたします。

以上